

海外安全対策情報 2019年第2四半期（4～6月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪情勢の概況

ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にありますが、依然として日本よりも犯罪発生率が非常に高い状況に変わりはありません。例えば、人口10万人当たりの強盗の発生件数を比較すると、2017年の統計では、ブルガリアは日本の約15倍です。

特に外国人観光客を狙った凶悪犯罪の発生は認められませんが、首都ソフィア中心部におけるスリや置き引きは依然多発しており、特に注意が必要です。外出時には常に防犯意識を高く持ち、携行品から目を離さないように十分注意して下さい。

（2）邦人被害犯罪の発生状況

5月上旬の午後4時30分頃、ソフィア市内随一の目抜き通りであるヴィトシャ通りにおいて、在留邦人がスリの被害に遭いました。犯人は、被害者が友人とベンチに座って談笑している隙に、被害者の隣に座り、被害者の鞆から財布を抜き取りました。

2 テロ・爆弾事件発生状況

6月5日、プロブディフにおいて、爆弾を製造しようとした16歳の少年が逮捕されるというテロ未遂事件がありました。報道によると、少年は、ISILに忠誠を誓い、プロブディフの学校を攻撃するつもりだったとのことでした。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は報告されていません。

以上